

環境WG 提言の骨子(案) 06-05-02村岡まとめ

課 題	成 果 の 概 要(イメージ)	提言の骨子(イメージ)
<b>1. 武庫川の自然環境</b> (1)自然環境の保全 ○ワークショップにより「武庫川健康診断図」を資料とし、検討課題を抽出する。 ○「1. 優れた自然環境が残された地域とその保全対策」 「2. 環境面で課題があると考えられる地域と解決策」 「3. 環境情報が不足していると考えられる地域やその他の検討項目」 について取りまとめる。 ○流域のモニタリングのあり方 (2)森林の保全 ○森林の陸上環境および水環境に及ぼす長期的な影響の解明 ○森林環境保全に関する今後の水文観測のあり方	○「優れた自然環境が残された地域」と「環境面で課題があると考えられる地域」に対する委員意見を、「武庫川の自然環境の総括」としてとりまとめる。 ○とりあげた地域は流域図に場所を示すとともに、場所の説明や、取り組みたいことから、取り上げた根拠などを一覧表に整理する。 ○(検討中) ○(検討中) ○(検討中)	○武庫川水系に暮らす生きもの、およびその生息環境の持続に向けての原則の提案。 ○委員会として推薦する、残していきたい自然環境(地域)の紹介。 ○課題があると考えられる自然環境(地域)と取り組み課題の提示。
<b>2. 河川構造物と環境</b> (1)河川横断構造物 i) 潮止め堰 ○河道対策に絡む堰の構造上の問題整理 ○生物の河道往來の観点からの問題整理 ○周辺地域の地下水塩水化の観点からの堰の要・不要論 ○高潮に対する防災上から見た堰の改造または要・不要論 ii) 六樋取水管 ○河道対策、とりわけ河床掘削に対する樋管の取水構造上の問題 ○樋管の構造が変わった場合の伏流水の導水、地下水の湧水に及ぼす影響 (2)○○○	○堰の構造と操作の現状を明らかにする ○堰を ①除去するか、②改造するか(どのように改造するか)、③現状で残すか、を結論づける。 ○樋管の設置現状と伏流水の利用実態の現状を明らかにする。 ○河床掘削が行われた場合、伏流水利用への影響を明確にし、問題解決のための手法を検討する。	○堰付近の生物生息や生態系の調査の必要性 ○堰周辺地域の地下水の利用実態、水質の調査の必要性 ○堰の除去、改造、保存の手法とそれらによる生物、地下水等への影響の予測の必要性 ○堤内地の湧水池と武庫川伏流水の関連に関する水理調査の必要性 ○河床掘削や樋管の改造がある場合の堤内地の湧水池に及ぼす影響の予測の必要性
<b>3. 水循環の健全性</b> (1)水循環の概念 ○流域における水循環の健全性の理解を深めること、および水循環の概念について明確な定義をする。 ○武庫川に即した水循環の検討項目を検討する。 (2)正常流量のあり方 ○生物生息環境に望ましい流況のあり方について検討する。 ○本川に沿う平水流量と低水流量の実態を整理、検討する。 ○河床のリフレッシュに必要な人工出水の確保に関する検討。 ○瀬切れの防止に必要な流量確保に関する検討 ○水環境(ダム湖・都市河川・都市水路の水質、親水性、水風景等)との関連で考えるべき正常流量のあり方に対する検討 (3)上水道の問題 ○各市の水道の適正利用とその水源の適切性について検討する。 ○ (4)下水道の問題 ○各市の下水利用と排水実態の適切性について検討する。 ○合流式下水道において大降雨時の余剰水排水について検討する。 (5)農業用水、工業用水の問題 (6)水収支から見た水循環の健全性 ○各市における降雨、上水、工水、農水、下水に関わる年水収支を検討する。 ○年総流量に対する各種用水量の割合を検討する。 ○河道に沿う代表地点における流量出来高の変化を検討する。	○「水環境健全性指標(環境省)」に掲げる5つの指標「自然なすがた」「ゆたかな生物」「水の利用可能性」「快適な水辺」「地域とのつながり」について、水循環の健全性に重要な関連性を持つ項目をまとめる。 ○ ○流水の正常な機能を維持する必要な流量のための検討事項に対して結論をまとめる。 ○左記の課題に対する対応の考え方についてまとめる。 ○各市の水道水源の流域内外の依存性、河川水・ダム・地下水(伏流水)等の依存性をまとめる。 ○取水地点から浄水場等への導水経路を明らかにする。 ○過去10年程度の水道使用量の経年変化から利用実態を明らかにする。 ○下水処理場、排水場からの排水地点の整理とその計画水量についてまとめ、処理水の河川流量への還元の可能性等について検討する。 ○ (検討中) ○各市における水収支の特徴を検討し、適正かどうかを判断する。 ○武庫川水賦存量に対する用水に利用率から水循環の健全性を判断する。	○武庫川流域についての「水環境健全性指標」の検討のため、各種対にアンケートを行うことの必要性 ○法令上の正常流量検討項目に関し、①必要な流量を供給する手法についての検討、②河道整備等の工法や施工法についての検討の必要性 ○法令上の正常流量検討項目以外に考えら必要な流量のあり方とその流量を供給する手法についての検討の必要性 ○循環型社会形成にふさわしい将来の水道利用計画検討の必要性 ○(水循環の健全性の検討を踏まえ)水源を伏流水、地下水に求めることの必要性 ○ ○内水氾濫の予測と対策の検討の必要性 ○下水道受入を超過する降雨に対する処置の方法について手の検討の必要性 ○下水処理の高度化の推進とその再利用の検討の必要性 ○各自治体での水収支、武庫川流域全体での水収支の特徴を常に各種対が認識することの必要性 ○将来の水環境、水利用の展望を立てることの必要性
<b>4. 水質とモニタリング</b> (1)水質の現況 (2)流域のモニタリングのあり方	(検討中) (検討中)	
<b>5. その他</b>		